

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |                 |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)グランフォーレ塩原四丁目     | 階数     | 地上9F            |
| 建設地      | 福岡県福岡市南区塩原4丁目210番    | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 第一種住居地域、法22条地域       | 平均居住人員 | 185 人           |
| 地域区分     | 7地域                  | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  |                 |
| 竣工年      | 2018年12月 予定          | 評価の実施日 | 2017年8月21日      |
| 敷地面積     | 2,746 m <sup>2</sup> | 作成者    | 松本拓也            |
| 建築面積     | 933 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2017年8月22日      |
| 延床面積     | 6,346 m <sup>2</sup> | 確認者    | 定森淳一            |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

| 3 設計上の配慮事項   |  |   |
|--|--|---|
| <b>総合</b>  |  | <b>その他</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内環境、サービス性能への配慮を行う。</li> <li>・緑地を確保し、室外環境への配慮を行う。</li> <li>・省エネ性能の向上に努めている。</li> </ul>                                   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>                    |
| <b>Q1 室内環境</b>   | <b>Q2 サービス性能</b>   | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・境界遮音性能に配慮している。</li> <li>・高い昼光率、昼光制御の確保に努めている。</li> <li>・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境への配慮を行っている。</li> <li>・高い自然換気性能を確保している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防汚性の高い建材を採用している。</li> <li>・高い耐震性を確保している。</li> <li>・耐用年数の長い、部品部材を採用している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地、中高木を多数設けている。</li> </ul>          |
| <b>LR1 エネルギー</b>   | <b>LR2 資源・マテリアル</b>  | <b>LR3 敷地外環境</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明等の高効率設備機器を採用している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ性能に配慮し、地球温暖化防止に努めている。</li> </ul> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される